

LA VOCE

ラ・ヴォーチェ

歌うことは生きること～声でつながった仲間たち



首藤 玲奈
(ソプラノ)



高原 亜希子
(ソプラノ)



藤谷 佳奈枝
(ソプラノ)



小泉 詠子
(メゾ・ソプラノ)



布施 奈緒子
(メゾ・ソプラノ)



宮本 史利
(バリトン)



山田 大智
(バス)



辻田 祐希
(ピアノ)



鳥井 俊之
(ピアノ)
特別出演

Program

♪ W.A.モーツァルト：ピアノ協奏曲第23番 イ長調より 第二楽章（2台ピアノ）

♪ G.ビゼー：「カルメン」 ハイライト

♪ 本田武久愛唱歌集～
すずかけの道・最愛・瑠璃色の地球・今日明日また明日 ほか

♪ ドイツ愛唱歌：野ばら・流浪の民 ほか

♪ 作詞 安田佑子／作曲 宮川彬良：風のオリヴァストロ

ゲスト出演



アトリオン少年少女合唱団



©Studio☆DiVA
神足 有紀
[指揮]



小澤 叶恵
[ピアノ]



2024.10.18(金)

アトリオン音楽ホール

18:30開演(17:45開場/20:30終演予定)

プレイガイド 秋田アトリオン事業部、さがけニュースカフェ

全席
自由

7/18(木)
チケット
発売

一般前売／3,000円(当日3,500円)

一般前売ペア／5,000円(当日扱い無し)

学 生／2,000円

学生券は25歳以下
の学生が対象です。

- 未就学児のご入場はできません。
- 前売にてチケットが完売した場合、当日券の販売はありません。
- 曲目等は変更になる場合があります。

声楽アンサンブルグループ「LA VOCE (ラ・ヴォーチェ)」は2010年1月、東京藝術大学音楽学部で声楽を学ぶ仲間たちによって結成されました。「LA VOCE」とはイタリア語で「声」を意味します。声でつながったその仲間には、2012年11月、病により41歳という若さで惜しまれながら旅立った仙北市角館出身のテノール歌手・本田武久氏がいました。本田氏は一度秋田で数壇に立ったものの、どうしても声楽家の夢を棄てきれず29歳で東京藝術大学声楽科に入学した努力の人。しかし卒業後、声楽家として本格的活動をスタートさせた矢先に病が発覚。病に立ち向かう本田氏と共に歌い支えとなるため、温かい心を持った仲間たちによって演奏会が企画されたのがグループ結成のきっかけです。その後、LA VOCEとして秋田県での初めての演奏会が2018年11月に大仙市中仙市民会館Don-Palで開催されました。

今回は県内で2回目、アトリオンでは初となる演奏会。本田氏が愛した歌曲の数々を、彼が幾度となく立ったこのステージで仲間たちが歌い上げます。また、本田氏と親交の深かったピアニスト鳥井俊之氏も特別出演致します。そしてゲストとして、県内の歌が大好きな小中高生たちが集まったアトリオン少年少女合唱団も出演。

「歌うことは生きること」——— 本田氏が残した大変印象深い言葉です。声でつながった仲間たちによる心からのメッセージ、どうぞお聴き下さい。



首藤 玲奈 (ソプラノ)

大分県別府市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学修士課程独唱科卒業。学部卒業時に同声会賞受賞。第28回飯塚新人音楽コンクール第二位、第78回日本音楽コンクール声楽部門(オペラ・アリア)二位。これまでにベートーヴェン『第九』ヘンデル『メサイア』オルフ『カルミナ・ブрана』等でソプラノソロを務める。大分県芸術振興会の海外助成制度に合格しミュンヘンにて研鑽を積む。



高原 亜希子 (ソプラノ)

千葉県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程修了。松田トシ賞、アカンサス賞、同声会賞受賞。第九を始め数多くの宗教曲などのソリストを務めるほか、オペラにも多数出演。長野県小諸高校音楽科非常勤講師。



藤谷 佳奈枝 (ソプラノ)

香川県出身。東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。イタリア国立パルマ音楽院首席卒業。第76回日本音楽コンクール2位、岩谷賞(聴衆賞)を受賞。サイトウ・キネン・フェスティバル松本にて、小澤征爾指揮『こどもと魔法』にて唯一の日本人キャストとして出演、同作CDがグラミー賞受賞。近年ではベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ミッコ・フランク指揮『こどもと魔法』、NHK交響楽団、マレク・ヤノフスキ指揮『第九』のソリストとして出演。香川県文化芸術新人賞、よんでん芸術文化奨励賞、第58回グラミー賞において、クラシック部門「ベスト・オペラ・レコーディング」賞を受賞。



小泉 詠子 (メゾ・ソプラノ)

東京藝術大学大学院博士課程修了、博士号取得。新国立劇場では『イエヌーファ』バレナ、『魔笛』侍女Ⅱ、『ボリス・ゴドゥノフ』フォードル等、二期会公演では『ノルマ』アダルジーザ、『椿姫』フローラ等、日生劇場では『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル等、数多くのオペラに出演する他、宗教曲のソリストも多く務める。第15回岩城宏之音楽賞受賞。愛知県立芸術大学、東京学芸大学、東京藝術大学各非常勤講師。二期会会員。



布施 奈緒子 (メゾ・ソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時にアカンサス音楽賞および同声会賞受賞。同大学大学院修士課程修了。これまでバッハ『ヨハネ受難曲』、ヘンデル『メサイア』、ベートーヴェン『ミサ・ソレムニス』、ヴェルディ『レクイエム』等にコンサートソリストとして数多く出演。バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして国内外の公演・録音に参加。また声楽アンサンブルグループ・ラ・フォンテヴェルデの公演に度々ゲスト出演するなど、アンサブルの分野でも活躍。コーロ・リベロ・クラシコ、パーセルプロジェクトメンバー。



宮本 史利 (バリトン)

バルマ国立音楽院首席卒業。20世紀最高のソプラノ歌手の一人、ミレラ・フレニー女史の下で研鑽を積む。日本では横須賀を中心に未就学児対象や、病院でのコンサートからリサイタルまで、イタリアではロッシーニ・オペラ・フェスティヴァル「ランスへの旅」トロンボノック役、ブッチーニフェスティヴァル「ジャンニ・スキッキ」タイトルロール、モデナ・パヴァロッティ劇場「ドン・ジョヴァンニ」マゼット役などオペラ、コンサートに多数出演。



山田 大智 (バス)

大阪府出身。東京藝術大学大学院オペラ科修了。在学時に安宅賞受賞。新国立劇場オペラ研修所修了。平成24年度文化庁芸術家在外研修員としてイタリアにて研鑽を積む。2015年度札幌音楽祭PMF声楽アカデミーに日本人声楽家として唯一参加。オペラでは「ドンジョバンニ」タイトルロール、「ジャンニスキッキ」タイトルロールなど、また宗教曲でも「第九」「メサイア」「天地創造」「ヨハネ受難曲」「クリスマス・オラトリオ」等のソリストをつとめる。日本オペラ協会会員。



辻田 祐希 (ピアノ)

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を卒業、同大学院修士課程を修了。修了時にピアノ演奏優秀者に選出される。ソロリサイタルを開催する他、オーケストラとガーシュウィン「ラプソディ・イン・ブルー」、ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」等を協演。イタリアへの短期留学を重ねながらコレペティートルの研鑽も積んでいる。メゾソプラノ・ヴィオラ・ピアノで結成した「Trio MEZZO」のリサイタルがザ・フェニックスホール(大阪)による企画に選出され、好評を博す。聖徳大学音楽学部講師、神奈川県立相模原弥栄高等学校非常勤講師、昭和音楽大学講師。



鳥井 俊之 (ピアノ) 特別出演

秋田市出身。ピアニスト、作曲家、編曲家。秋田高等学校、東京芸術大学卒業、同大学院修了。実力・センス抜群の第一級の伴奏ピアニストとして多くの著名な声楽家と共演する。繊細で品格ある演奏には定評があり、その伴奏テクニックは常に最高の評価を得ている。作曲家として、オペラ、ミュージカル、歌曲集の音楽作品がある。東京芸術大学オペラ科講師、二期会オペラ研修所講師、聖霊女子短期大学音楽科教授を経て、現在、聖徳大学音楽学部教授、二期会ピアニスト。

アトリオン少年少女合唱団

指揮：神足 有紀 ピアノ：小澤 叶恵 合唱指導：櫻庭 優佳 ヴォイス・トレーナー：長谷川 留美子

2014年12月、歌劇『ヘンゼルとグレーテル』への出演を機に結成された小学4年生から高校3年生までの児童・生徒からなる合唱団。プロ音楽家との共演、年齢の異なる団員同士での交流・研鑽・助け合いなどの様々な活動を通し、豊かな感性と協調性、自立精神を育むこと、そして仲間と声を合わせる喜び、良い演奏・良い音楽作りを目指して仲良く活動している。現在16名の団員(うち男子2名)が所属。

チケット電話予約 / お問い合わせ

秋田アトリオン事業部

☎018-836-7803

9:00~17:30

(9/8全館休館日を除く)

※予約は会員登録が必要です(無料)。
※お一人様1公演につき5枚までご予約できます。

[HP] <https://www.kosei-buil.co.jp/atorion/>
秋田市中通2-3-8 アトリオンビル4F



●アトリオンに駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場または公共交通機関をご利用ください。

●アトリオン南駐車場は修繕工事のため利用できませんのでご注意ください。(本公演ではサービス券の進呈はありません)
※広小路、仲小路、中央通りは終日一方通行です。(→印)

